

2025

INFINITI

100W Challenge

主催：一般社団法人オフグリッド・デザインコンソーシアム

7月

28日 月

30日 水

受付 4:30PM

5:00PM ~ 8:30PM

空庵/琉庵 OFF-GRID TEST SITE

茨城県常陸太田市下宮河内町

<https://g.co/kgs/nUDce5V>

事前申込制 / 参加費無料

下記URLまたはQRコードのフォームよりお申し込みください。

- ※ 東京駅丸の内発着の送迎バスをご用意しております（先着順）
- ※ 取材をご希望の方は、申込フォームの備考欄にご記入ください。



<https://forms.gle/Qt5qGjeX3zNqbZxL9>



オフグリッド・デザイン宣言

2019年より技術発想に気づき研究開発を進めて参りました
超小集電技術は、研究過程の中で当初に比較して予想を超える高い電力を生み出すレベルまで技術進化し、2025年からは社会実装に向けた製品化を進めております。

更に本年6月より、日本発の再生循環型の電力資源技術である超小集電を開発資源として活用し、様々な製品やサービスを広く国内外に普及させたいという目的のもと技術啓蒙と新たな事業開発を主軸とした「一般社団法人オフグリッド・デザインコンソーシアム」設立致しました。

コンソーシアム始動と超小集電技術の社会実装化を記念し、来たる7月28、30日の2日間、茨城県常陸太田市の実験サイトにて、世界初となる土壌を介した集電による100Wの集電実験を新実証棟「琉庵 / LU-AN」にて実施する事となりました。

つきましては超小集電技術にご理解とご関心を頂く皆様方をお招きして、ささやかな集いを開かせて頂きます。

地球環境を巡る多くの課題が問われる現在、ご参加頂く皆様と共に私達の暮らしや社会の未来について共に考え、お話を頂く機会となればと願う次第です。

一般社団法人オフグリッド・デザインコンソーシアム
代表理事 中川 聡



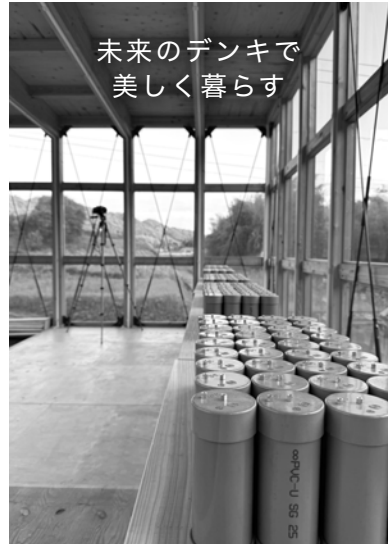
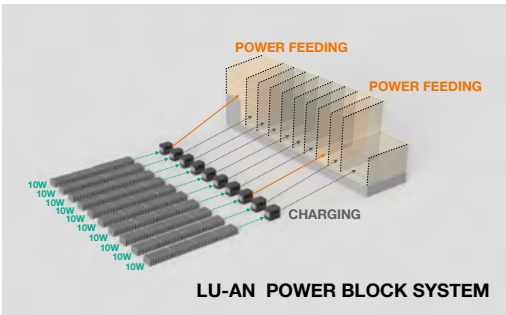
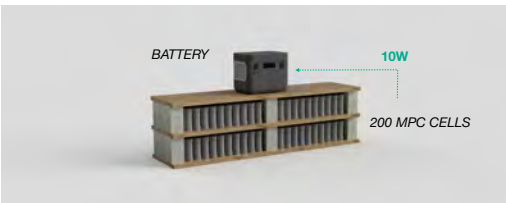
100W Challenge

暮らしを支える身近な電気を自ら生み出す社会実験が始まります。

琉庵ではUSB-PDで可動する照明や電子デバイスなどを対象とした12V100Wの集電による実証実験に挑戦します。

POWER BLOCK SYSTEM

超小集電が提案する新たな電力供給のシステムデザインは分散自立型の考え方に立脚しています。100Wの電力を10ブロックに分かれた集電ユニットで構成し、持続的に電力を供給し続けます。



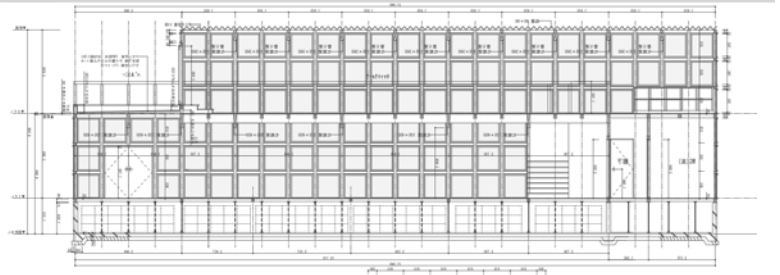
MPC CELL

日々進化を遂げる
超小集電用電池



LU-AN / OFF-GRID LIVING LAB

現在、琉庵は完成に向けて、周辺外構や室内環境の整備が計画されています。今回の挑戦を契機に、企業の参加やご支援による完成を目指します。



OFF-GRID DESIGN CONSORTIUM

生命を守る
暮らしを支える
地域を創る

オフグリッド・デザインコンソーシアムは、一般社団法人による団体組織です。その設立目的は我が国発の世界特許技術である超小集電の発想と技術を応用し、電力資源を持たないオフグリッドな環境の中で暮らす人々の生命や暮らし、そして社会を独立した自給自足のエネルギーで支えていくデザインやテクノロジーを研究開発し、それらを活かした製品やサービスによって新たな産業や市場価値の創出を目指します。オフグリッド・デザインコンソーシアムはその事業活動を通して人々の生命を守り、地球環境の未来や地域社会づくりに貢献する人材育成を支援して参ります。

オフグリッド・デザインの3つのテーマ

オフグリッドを
テーマ領域に
社会課題を
デザインする

コンソーシアムでは、オフグリッド状況により引き起こされる様々な社会課題を使い手の目線に立って調査研究し、その創造的な解決に向けたデザイン+テクノロジーを開発提案していきます。

1 生命を守る

電力供給で守れる生命を考えたい

- ・ 防災、減災（センシングによる予知、通知、電力供給）
- ・ 無電エリアの安全確保（遭難防止など）
- ・ 医療

2 暮らしを支える

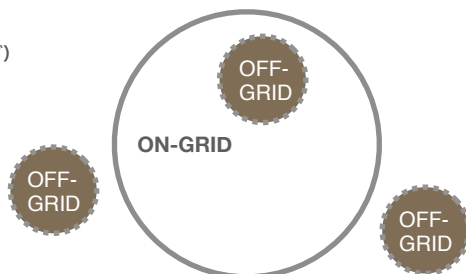
暮らしの基盤を支えて保全する技術を提案する

- ・ 無電化地域への超小集電導入（途上国支援）
- ・ データ通信（ドローン、衛星など）
- ・ 環境 × 感性（エンターテインメント）他

3 地域を創る

持続性を持って自立した地域を設計する

- ・ 環境保全
（モニタリング、
バイオセンシング）
- ・ 地域創生 他



OFF-GRID DESIGN MAP



PROGRAM

当日のプログラムの内容や時間につきましては変更が生じる場合がございます。

INFINITI 100W Challenge

- 17:00 OPENING ADDRESS 主宰者 ご挨拶 @ 空庵
- 17:10 超小集電が描き出す未来
- 17:25 オフグリッド・デザイン宣言
- 17:45 乾杯
- 17:50 来賓ご挨拶
- 18:15 OFF-GRID DRINK & APPETIZER
- 18:45 琉庵へ移動
- 19:00 100W CHALLENGE 集電実験
- 19:15 TUTTI DEBUT (MPC PRODUCTS発表) @琉庵
- 19:30 LU-AN KONZERT 「INFINITI」
TELLA LUCE
- 20:00 GAIA SYMPHONIA PERFORMANCE
- 20:15 CLOSING ADDRESS 閉会の辞
- 20:20 記念撮影
- 20:30 GREEN LIGHT PATH / 閉会



MPC GUEST PERSONALITY

国際シンポジウムや報道などを通して長く超小集電に理解とご支援を頂いているお二人をゲストパーソナリティとしてお迎えしてLU-AN 100W CHALLENGEのナビゲーターを務めて頂きます。



7/28 Mon.

難波 遥 氏

フェリス学院大学(国際交流学部国際交流学科)卒業

株式会社Hands UP代表取締役、2022年菊川応援大使

学生時代からイベントの司会やモデル活動を開始し、多くのミスコンテストでグランプリを受賞。大学2年時のフィリピン留学での体験がきっかけとなり、SDGsの認知活動を目指した学生団体「Hands UP」を立ち上げる。2021年12月 活動を継続するために法人化。株式会社 Hands UPの代表として学生起業家となる。

現在は、個の幸せと可能性の最大化をビジョンに掲げ、Z世代の学生スタッフと共に、環境問題や人権問題など地球に存在する課題の解決に取り組んでいる。



7/30 Wed.

近藤 サト 氏

1968年岐阜県生まれ/日本大学芸術学部放送学科卒業。

1991年4月、フジテレビ入社。報道番組や情報番組などのナレーションを担当。1998年9月、フジテレビ退社。フリーランスに転身後は、落ち着いた声質をいかしてNTV『真相報道 バンキシャ!』などのナレーションを中心に活躍。また母校である日本大学芸術学部の特任教授も務める。公式YouTubeチャンネル「サト読ム。」では、着物企画や名作朗読などを発信。著書に『グレイヘアと生きる』(SBクリエイティブ)がある。

LU-AN KONZERT 「INFINITI」

超小集電の研究当初からオフグリッド・テストサイトに素晴らしい音楽の世界観を届けて頂いた日本を代表するクラシック音楽界の名手の皆様方を、再び琉庵のステージにお招きして類稀なる演奏を皆様にお届けします。

7/28 Mon.



宮崎 由美香 氏 (FLUTE)

東京藝術大学首席卒業後、同大学院修士課程を修了。在学中に、アカンサス音楽賞、NTT docomoより、奨学金を授与される。2004年、第15回日本木管コンクール第2位、2005年第12回日本フルートコンベンションコンクール第2位、同年第23回日本管打楽器コンクール第2位を受賞。2007年より2年間NHK交響楽団アカデミー生として研鑽を積む。都内外の国内オーケストラ客演首席を務める他、室内楽の分野でも数多くの演奏家と室内楽の魅力を追求している。2006年より軽井沢国際音楽祭出演。現在、尚美ミュージックカレッジ非常勤講師。クインテット"H"(アッシュ)メンバー。これまでに「歌の本」「ユモレスク」「フルチネラ」「マメールロワ」の4枚のCDを出しており、「フルチネラ」「マメールロワ」は『レコード芸術』で準特選盤に選出される。これまでに村上成美、金昌国、パウルマイゼン、中野富雄の各氏に師事。

平野智美 氏 (CEMBALO)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁特別派遣芸術家在外研修員としてイギリスに派遣され研鑽を積む。チェンバロを鈴木雅明、N.バール、室内楽を小林道夫の各氏に師事。第13回国際古楽コンクール<山梨>最高位受賞。演進コンサートにて室内楽リサイタルを開催(東京文化会館)。2005年文化庁ニューアーティストシリーズ選出。2017年 コンサートとシンポジウムのタベ<文化庁新進芸術家海外研修制度50周年記念>出演。クリストファー・ホグウッド、ゲルハルト・ボッセ、マルティン・シュナイト、小澤征爾指揮の演奏会に参加するほか、ヘンデル・フェスティバル・ジャパン、ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルなどの公演に出演。また国際ダブルリード・フェスティバルの公式伴奏を務める他、ハイニヘン「新しい通奏低音奏法」翻訳書にてリアリゼーションを担当するなど幅広く活動。2016~2018年国立音楽大学講師。現在、千葉経済大学短期大学部講師。CD「<1685> 後期バロックの3巨匠」(音楽現代推薦盤)、「パッサムピアノソラ」(レコード芸術準特選盤)リリース。



7/30 Wed.



池松 宏 氏 (CONTRABASS)

1964 年ブラジル生まれ。19歳よりコントラバスを始める。桐朋学園大学卒業。NHK交響楽団首席を経て、2006年家族と共にニュージーランド移住しニュージーランド交響楽団首席。2014年帰国し現在東京都交 響楽団首席奏者。これまでに8枚のソロ・アルバムをリリース。 水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。後進の指導にも力を入れており、現在、東京芸術大学教授、国立音楽大学客員教授。またドイツ、イギリス、ポーランド、オーストラリア、中国など海外のコンクール、音楽祭や音楽大学に招かれマスタークラスを行っている。溪流釣りが趣味で2013年ニュージーランド・ナショナル・フライフィッシング・ベア大会優勝。

坂野 伊都子 氏 (PIANO)

京都府出身。第69回日本音楽コンクール2位受賞を皮切りにソロ、室内楽において様々なアーティストと共演を重ね、国内外の音楽祭、録音等様々な室内楽プロジェクトに積極的に参加。第6回宮崎国際音楽祭にてピアノトリオでアイザックスターン氏のレッスンを受講。第7回トリエステ国際室内楽コンクール(イタリア)最高位受賞等、数々の国内外のコンクールにて入賞。国立音楽大学ピアノ科を首席で卒業、武岡賞受賞。桐朋学園大学ソリストディプロマコースにて研鑽を積む。精力的な演奏活動の傍ら母校の国立音楽大学附属高等学校にて後進の指導にもあたる。



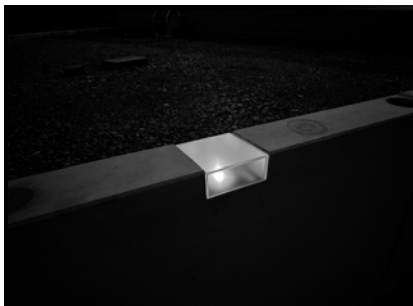
Unveiling of new MPC Products



TELLA LUCE

新開発の集電セルとチャージ・コントロールシステムにより、世界初となる「土壌」を介した100Wの集電に挑戦。琉庵の空間に配置された約2,000ものLEDがインフィニートな光の世界を描き出します。

トライポッド・デザイン株式会社



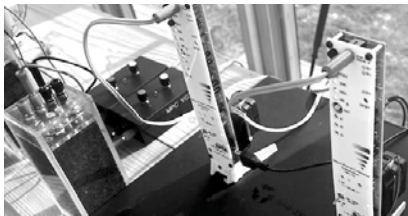
TUTTI DEBUT

超小集電の製品となるスタンドアロン型空間照明「TUTTI (トゥッティ)」を発表します。超小集電を自立電源とするTUTTIは、地域の人々のオフグリッドライフに美しいデザインによる平和な灯りを提供します。

株式会社武井工業所

Performance of 「GAIA SYMPHONIA」

超小集電により生み出す電気を可聴化する目的でデザイン設計された装置がオフグリッド・シンセサイザーです。「GAIA SYMPHONIA」は聴く人を未知の音響世界へと誘い、その五感を拡張します。

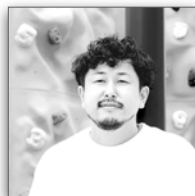


江夏 正晃 氏 (ARTIST)

音楽家、DJ、エンジニア。marimoRECORDSのプロデューサーとして多くのアーティストのプロデュースをするかたわら、エレクトロユニットFILTER KYODAIとしても活動中。同時にCM音楽、映画のサウンド、自動車のサウンドデザインなども多数手掛ける。2020年10月世界初ハイレゾ・アンビソニックアルバム「PIANO Pieces」をリリース。自他ともに認めるシンセサイザー好きで、いくつかのシンセサイザーメーカーの開発にも携わる。関西学院大学、相愛大学の非常勤講師も勤め、著書に「DAWではじめる自宅マスタリング」(リットーミュージック)などがある。株式会社マリモレコーズ 代表取締役、関西学院大学非常勤講師(総合政策部メディア情報学科)、洗足学園音楽大学客員教授(メディアアーツ学科)、大阪メディア図書館 エスクール専任講師、日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ 理事(JSPA) サイエンス映像学会 常任理事(2010~2018)

WA!moto. “Motoka Watanabe” 氏 (ARTIST)

1981年北海道伊達市生まれ、都市空間と人間の関係性に興味を持ち、人々が精神的に都市空間とつながる手助けとなるよう、公共空間での彫刻作品を制作・設置する取り組みをおこなっている。主な作品に銀座4丁目 宝童稲荷神社参道“猿結参道”(2016年、銀座)、MIYASHITA PARK SHIBUYAのボルダリングウォールのシンボルアート“YOUwe.”(2020年、渋谷)、高さ5.7mの大型彫刻“Find Our Happiness”(2021年、中国中山市)、“IYMMTRSTN.” 2023(愛知県 犬山市 名鉄犬山遊園駅)、“HEY.” 2024(東京都 天王洲 EZO HUB TOKYO)がある。



Photograph Tomohiro Mazawa



Off-Grid Design

まだ見ぬ過去に想う

私達は19世紀の産業革命を契機として、今日では暮らしや社会の隅々まで電力が行き届いた都市環境の中で暮らしています。電力エネルギー産業はより大きなエネルギーを効率良く生み出す技術として今も私達の暮らしを支え続けています。

ところで、2019年に私達が出会った超小集電の技術は身近な自然物や資源を上手に活用し、小さな電気を蓄めて使うことを目的としたこれまでの電力利用に対する考え方を根本的に問い直す側面を持ったテクノロジーであると言えます。

超小集電の社会への普及を目的として設立された、一般社団法人オフグリッド・デザインコンソーシアムでは、超小集電の技術を我が国が世界に誇る省エネ技術や電子工学技術と連携させる事で、世界に広がる無電環境や、情報から隔離された人々の暮らしを支える技術として多様な社会や人々に向けて新たな電力利用の在り方を提案していくオフグリッド・デザインを企業間共創により訴求して参ります。

皆様方におかれましては日本発の新たな電力資源技術の進化と発展に深いご理解とご支援を賜れば幸いです。



代表理事 中川 聡

プロダクトデザイナー／デザイン・エンジニア／デザインコンサルタント
トライボッド・デザイン株式会社CEO

国立大学法人東海国立大学機構

名古屋大学医学部 客員教授（2020年～）

元東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻特任教授（～2018年）

一般社団法人オフグリッド・デザインコンソーシアム代表理事

OFF-GRID Drink & Appetizer



1823年の創業以来、茨城県那珂市にて伝統を守りながら常に革新を重ねてきた「木内酒造」によるオフグリッド・ドリンク&フードで皆様の五感を拡張します。

<https://off-grid-design.com>